

水道の安心・安全を守り続けたい

～わたしたちの願いです～

お客さまからいただく大切な水道料金収入により、日々水道水をつくってお届けするとともに安心・安全を守り続けるための事業に取り組んでいきます。

道路の下にある水道管を耐震化するってどんなこと？



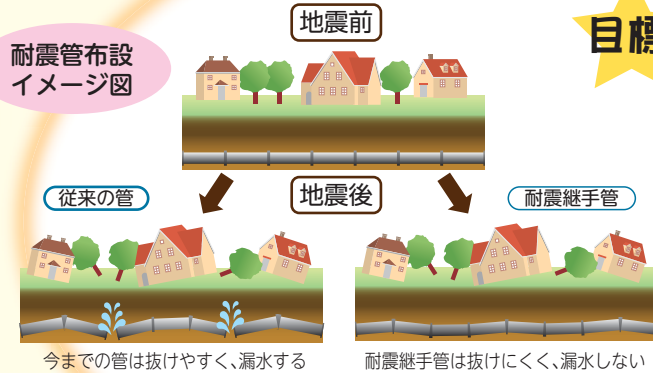
水道管の耐震化

地震に強い耐震継手を使った水道管にしていきます

主な事業の内容を紹介します。



耐震管布設イメージ図



目標 基幹管路耐震化率50%

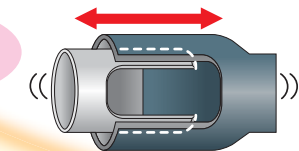
水道管の中でも特に幹となる基幹管路が約70kmあります。現在32%の耐震化率を平成32年度には50%になるよう取り組んでいます。

費用 基幹管路 1 kmに 2億円以上

主に幹線道路下にあるため、大規模で難しい工事が多くなります。工事の方法により費用も大きく変わります。



耐震継手イメージ図



管と管の継目部分が可動式になっている

そんなに施設の老朽化が進んでいるの？

老朽化した施設や水道管の更新

事業開始以来86年が経過し多くの施設が更新時期を迎えます

目標 1. 経年化管路毎年 8 km更新 2. 片山浄水所再構築

水道管の総延長は約700kmですが、更新の優先順位を明確にしながら毎年8kmを目標に新しい管に取り替えます。

片山浄水所は新しい水処理ができる施設に造り替えます。



費用 1. 水道管 1 kmに約 1億円 2. 片山浄水所更新に 40億円以上

水道管や施設が新しく生まれ変わるためには多くの費用が必要となります。



鉛製給水管の解消

約28,000戸のお客さまでご利用の可能性があります

目標 平成31年度までの解消

鉛製給水管の残存率の高い地域から、計画的に面的整備を進めています。



費用 1 件の解消に20～30万円

鉛製給水管の長さや状況にもよりますが、替費用と路面の復旧工事の費用が必要です。



設備や機器の更新

約450点の設備や約70点の水質検査機器があります

水処理にはどれだけの設備がいるの？



目標 設備や、水質検査機器を計画的に更新

費用 年間で約 4億円

「今後の吹田市水道事業と料金のあり方について」

— 安定的な水道事業を進めるための水道料金のあり方について —
第9次水道事業経営審議会に諮問しました。



「諮問書」を手渡す井上市長(右)と正副会長

事業とその財源としての料金のあり方について検討をかさねています。

諮問の趣旨

- 水道施設や管路は老朽化が進み、更新・耐震化が急務です。
- そうした施設の再構築には多大な費用が想定されます。
- しかし、水道使用量や給水収益(水道料金収入)は減少し続けています。
- 本市の水道料金は平成9年以降、15年間値上げしていません。
- 現行の料金体系は、近年の水使用の変化に対応できていません。(例えば、使用量の減少以上に料金収入が落ち込んでいます。)

こうした課題を踏まえて、安定的な水道事業を進めるため、本市の目指すべき水道料金のあり方について水道事業経営審議会に検討をお願いしました。



これまで5回の審議をかさねています

7月18日 市長から諮問「今後の水道事業と料金のあり方について」

現行料金と課題について

人口や水需要の予測
過去20年間 段階別水量構成の推移
使用量別 1 mあたり水道料金と給水原価 ほか

9月3日

現在の経営状況とこれまでの経営努力等について

過去10年間の収支状況・職員数・人件費の推移
給与費削減の取組等
業務委託進捗状況

水道料金算定の考え方と課題について

料金の基本的な考え方 ほか

10月22日

総括原価算定の考え方について

水道料金算定要領による総括原価の試算
平成9年度料金改定資料でみる総括原価 ほか

11月28日

建設改良事業の今後について

第2次上水道施設等整備事業の見直し ほか

これからの審議予定・・・

- 財政計画の策定
- 第2次上水道施設等整備事業見直しに伴う財政推計料金水準の算定
- 総括原価の算定
- 料金体系の設定
- 料金体系の選択 など

「今後の水道事業と料金のあり方について」
平成26年6月 答申予定

審議会委員の皆さんからは・・・

- 「人口の今後の動向は？」
- 「地下水利用専用水道の影響は大きい。他市における対策事例は？」
- 「供給単価(販売単価)と給水原価(製造単価)が逆転(逆ざや)になっているのは問題では？」
- 「使った分は応分に負担していただく本来の料金の姿を目指すべき」
- 「水道事業の現状と今後について早い時期から様々な情報を発信すべきでは？」
- 「老朽施設の更新や耐震化事業には今後どれくらいの費用がかかるの？計画的な実行が必要」
- 「施設更新時には環境に配慮した再生可能エネルギーの導入を計画すべき」
- 「水道部においても一層の経営努力が必要になってくる」など、審議会では毎回様々な議論がされています。



(くわしい内容は水道部ホームページに掲載しています。)